

平成
30
年度

川崎市人権学校

～人権について学ぼう～

テーマ 人間には生まれてきた意味がある

川崎市では、さまざまな人権の課題について、市民や企業の皆さまに考えていただく場として毎年「人権学校」を開催しています。

今年度は『人間には生まれてきた意味がある』と題し、1995年から2000年までラジオ深夜放送のパーソナリティーを務め伝説的な人気を博された、小説「あん」の原作者でもあるドリアン助川さんをお呼びして講演を行います。

平成31年

2月6日(水)

午後6時15分～8時00分

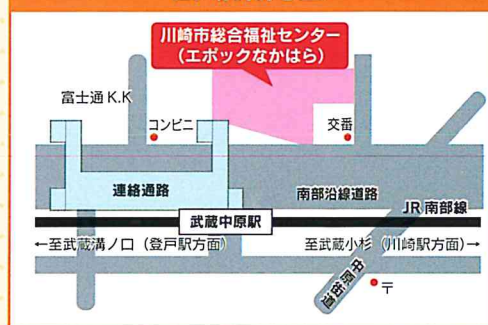
※午後5時45分から受付開始

(会場に人権施策の資料・パネル等を展示しています)

申込不要・入場無料

※ただし、手話通訳・要約筆記が必要な場合は、
1月24日(木)までにFAXで事前申込

会場案内図



会場

川崎市総合福祉センター(エポックなかはら)
川崎市中原区上小田中6-22-5
(「武蔵中原」駅徒歩1分)

講師 ドリアン助川

1962年、東京生まれ。詩人・作家・道化師。

早稲田大学第一文学部東洋哲学科卒業。放送作家等を経て、1990年「叫ぶ詩人の会」を結成、話題に。

1995年から2000年までラジオ深夜放送のパーソナリティーを務め伝説的な人気を博す。

小説「あん」が河瀬直美監督により映画化され、2015年カンヌ国際映画祭のオープニングフィルムとなる。小説「あん」はフランスで二つの文学賞を受賞。現在13ヶ国語に翻訳されている。



対象 市民・企業研修担当者・学校関係者など

定員 150人(先着順)

主催 川崎市

協力 公益財団法人 人権教育啓発推進センター

問合せ 川崎市 市民文化局人権・男女共同参画室 電話 044-200-2316 FAX 044-200-3914